

日本一の酒処＜灘（魚崎郷・御影郷）＞散策

2019年5月26日（日）

“灘の生一本”として、普く知られる灘五郷！

摂州・茨木の弥次喜多仲間が共に連れ立ち、“人生（旅）の醍醐味”目指して、灘（魚崎郷・御影郷）の酒蔵などを、「ほろ酔い気分の“はしご酒”と洒落込もう」ではありませんか！

「阪神・淡路大震災」以降、灘五郷の酒蔵地帯では“酒蔵の町並み”を地域の財産として残すために、景観に配慮した＜まちづくり＞が推し進められています。

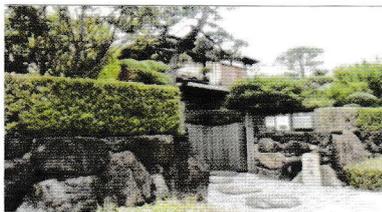
「魚崎」駅から「大石」駅にかけての阪神電車各駅を起点としたモデルコースには、交差点や主要施設毎に案内板が設置され、初めて訪れた人も迷わず歩けることでしょう。

酒蔵風の外観の建物、レトロな煉瓦舗装の歩道や街灯、酒樽型の自転車置場、松並木に酒樽のプランター、水車のモニュメント等など。また、谷崎文学『細雪』の舞台となった“倚松庵”、古の浪漫を今に伝える史跡“処女塚古墳”、昭和初期の面影漂う“御影公会堂”、アニメ映画『火垂る墓』の碑、歴史の証人“焼け銀杏”などの史跡が随所に散在しています。

そして、順路沿いの酒蔵（菊正宗酒造・白鶴酒造・福寿酒造等の記念館・資料館）での試飲などを大いに愉しもう！

風薫る五月の好日、五感（視・触・聴・嗅・味）や第六感（直観）などの人の持てる知覚の全てを駆使して、“日本酒の魅力”に存分に浸りながら町並み・歴史・文学・味覚散歩などは、如何でしょうか！

水先案内人：牧 彰（会員）



『細雪』の舞台“倚松庵”



「ノーベル賞」晩餐会の銘酒“神戸酒心館”「阪神・淡路大震災」の避難所“御影公会堂”



- 参集地：阪急「茨木市」駅 12時00分（時間厳守）—昼食は、事前に済ませてお越してください。—
- 順 路：阪急「茨木市」12:06⇒12:23 阪急「梅田」～阪神「梅田」12:35⇒12:57「魚崎」
～（灘（魚崎郷・御影郷）散策後17時頃解散）～阪神「石屋川」⇒阪神「梅田」～
阪急「梅田」／JR「大阪」⇒阪急「茨木市」／JR「茨木」

○参加費：無料（会員外は資料代100円）

○申込先：「街 ing いばらき」代表・阪田 浩（080-1436-9881） ※会員外の参加、大歓迎！

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己負担でご対応ください。